



## 『 頸動脈エコー検査について 』

---

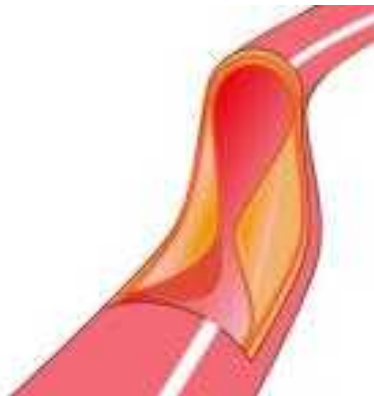
現在、動脈硬化に起因する疾患が増加しています。動脈硬化を起こすと血管壁が厚くなったり、硬くなったりしますが、その進行度を画像で確認できる頸動脈エコー検査が有効であると言われています。

この検査は、ベッドの上で仰向けになり、首の部分にゼリーをつけた後、超音波をあてて行います。痛みはなく被ばくもありません。血管内腔の観察や血管壁の厚みを計測することで、血管の詰まり具合や動脈硬化の進行程度を判断します。

また、血流の速さを計測することで脳に近い血管に大きな狭窄などがないかを確認します。

動脈硬化症が進行することにより、血管は狭くなり、心筋梗塞などの心疾患、脳梗塞やくも膜下出血といった脳疾患などに繋がります。

自分自身の動脈硬化の進行程度を把握し、食生活の改善や運動療法、投薬などによる予防を行うためにも、頸動脈エコー検査を受診されることをお勧めします。



鹿 児 島 厚 生 連  
中央検査室（診療放射線技師）  
重 信 隆 彰